

Contents

Business Angle	1
Message	2
Information	3
Activities	4

【事務局】 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-37-4 友田三和ビル3F
 TEL 03-3296-0769 FAX 03-3296-0779 URL <http://www.ajec.com/>

Business Angle

◆ 第1回「日本編集制作大賞」決定 東京国際ブックフェア内で来場者が投票

日本編集制作会社協会が主催する第1回「日本編集制作大賞」の投票選考会が、7月6日～9日に東京ビッグサイトで開催された編集制作プロダクションフェア（東京国際ブックフェアと同時開催）の協会特設ブースで行われ、(株)エディットが編集制作した「脳を鍛える！書き込み式地図ドリル」（発行：成美堂出版）がグランプリ（兼教材部門賞）を受賞しました。また、一般書部門賞には(株)ブレンプールの「ブッフエ料理大全」（発行：研秀出版）、企業出版部門賞には(株)エフビーアイ・コミュニケーションズの「日興コーディアルグループCSRレポート2005」（発行：日興コーディアルグループ）がそれぞれ選ばれ、受賞各社には7月20日に開催された一般書部会の席上で、細江弘司理事長より表彰楯と副賞が授与されました。なお、受賞作品の紹介ならびに受賞者のコメントは次ページに掲載しています。

日本編集制作大賞は、会員社が全

部または大部分の編集制作業務に携わった単行本、雑誌、教材、ムック、PR誌、カタログなどの作品の中から、「クオリティ」「スキル」「ルーチン（継続性）」などの観点で特に優れた作品を選考し、その功績を称えるもので、編集制作プロダクションフェアの協会ブースに出展する「我が社の一冊」が選考対象となります。今回は全部で28作品（一般書17点、企業出版6点、教材5点）のエントリーがあり、東京国際ブックフェアの前半2日間に来場された版元、書店、取次などの出版関係者や専門家に記名方式で投票を依頼し、一般書・教材・企業出版の3部門ごとに優れた作品1点を選考してもらいました。

その結果、今回は全部で260名の投票があり、担当理事立ち会いのもとで集計。受賞作品にはリボン記章をつけ、ブックフェアの後半2日間



日本編集制作会社協会が主催した第1回「日本編集制作大賞」を受賞し、記念撮影におさまる受賞会社の代表。右から企業出版部門賞を受賞した(株)エフビーアイ・コミュニケーションズの飯岡俊明ゼネラルマネージャー、グランプリ兼教材部門賞を受賞した(株)エディットの小林哲夫社長、一般書部門賞を受賞した(株)ブレンプールの小椋山範男社長。左は日本編集制作会社協会の細江弘司理事長。

にわたって展示披露しました。

こうした斬新な顕彰制度を実施したこともあり、協会ブースには例年にも増して多くの出版関係者が来場し、協会ならびに会員各社のPRに大きく貢献しました。なお今年、編集制作プロダクションフェアに個別出展した会員社は以下の通りです。

- (株)アルク出版企画、(株)エディット、(株)カルチャー・プロ、(株)シンクハウス、(株)タカオ・アソシエイツ、(有)トゥー・ワン・エディターズ、(株)日経スタッフ、(株)パルス・クリエイティブ・ハウス、(株)群企画、(有)木香舎（音順）。



東京国際ブックフェアでのテープカットの様



協会ブースで展示された「我が社の一冊」



優れた作品を選んでもらう日本編集制作大賞を実施

協会の法人化を目指して

理事・法人化準備委員長 小檜山 範男



日本編集制作会社協会は、この業界唯一の職能団体として1983（昭和58）年4月に設立されました。以来20数年にわたって着実な活動を続け、加盟社も増えてきています。設立の趣旨には「編集制作のスキルアップ」「同業者による連絡、協働」「業界の成長・発展」「業界のステータスアップ」「クライアントとの安定したパートナーシップの構築・維持」などが挙げられ、現在もこれらの目的に沿う機能を維持しながら活動を続けています。しかしこの間、協会は社会的には法人格も持たない「任意団体」として存在し続けてきました。

言うまでもなく、協会が設立された当時とは出版・編集をはじめ、私たちを取り巻く業界も大きく様変わりしています。そして協会加盟各社は（加入していない編集制作会社も含め

て）、それぞれ実力を身につけ、業界では編集制作会社抜きには語ることができないほど、大きな存在となってきました。このような環境の変化を踏まえると、今こそ法人格を持った「日本編集制作会社協会」として、新たなスタートをきる時機であると言えます。折りしも、公益法人制度改革法が国会で成立したこともあり、協会では2008年中の社団法人化を目指して、「法人化準備委員会」を発足させ、具体的な研究・準備をスタートさせています。

◆「法人化」の狙いと今後の展開

国内で唯一の編集プロダクションの業界団体である当協会が独立した法人格を持つことにより、社会的に

認められた存在の協会となることができます。例えば（社）日本雑誌協会などの団体と同格の団体として、さまざまな活動を行うことができます。

一方で、協会内部的には経理その他の帳簿や書類の整備も必要で、担当理事の事務所が処理している現在の事務局のあり方を見直す必要もあります。また、コピー機やファックス、パソコンなども協会の資産として揃えるなど、きちんとした組織のありようを考える必要があります。このほかにも協会規約をはじめ、活動の内容、内規などを含めた見直しが必要なことから、「内規検討委員会」（委員長・山本肇昭理事）を設置し、法人化に向けて具体的な検討が始まったところです。

会員各社には、今後とも協会活動に対するご理解とご協力をお願いすると同時に、非会員社には法人化を目指す協会への参加を呼びかけていきたいと考えています。

第1回「日本編集制作大賞」受賞作品と制作担当者のコメント

【グランプリ兼教材部門賞】

(株)エディット



「脳を鍛える！書き込み式 地図ドリル」

◆一般書編集グループの坂 泰宏さん

制作の機会を与えてくださった版元、企画を立ち上げる当初から力添えをいただいた方々、制作に携わっていただいた多くの方々に深く感謝します。読んで面白く、解いて楽しい本づくりを一番に考えて制作を進めました。投票くださった方々のコメントは、今後の編集のかけがえのない道しるべになると考えています。日本編集制作大賞受賞を、初心を忘れないための大切な灯火として、今後とも精一杯勉強していきたいと思います。

【一般書部門賞】

(株)ブレンプール



「ブッフェ料理大全」

◆編集担当の小針さやかさん

全国のホテル、旅館で展開されているブッフェサービスについて、142シーンを直接取材。朝食、ランチ、ディナーそしてパーティーで供される料理の他、会場のレイアウトや演出を、お客様が入る前の短時間ですべて撮影しなければならぬなど、厳しい条件下での取材でした。取材から原稿作成、デザイン、DTP、装丁まで一貫して当社で行いました。企画から発行まで大変な1年でしたが、この仕事を担当することができてよかったと、今回の受賞を喜んでおります。

【企業出版部門賞】

(株)エフビーアイ・コミュニケーションズ



「日興コーディアルグループCSRレポート2005」

◆シニアAEの浜島哲也さん

この度は、第1回「日本編集制作大賞・企業出版部門賞」をいただき光栄です。ありがとうございます。日興コーディアルグループの活動に関する情報を、幅広い層の方々に、わかりやすくお伝えすることを目的とした本レポートが、出版社、販売店、取次会社などの専門家の皆さまにも評価いただけたことを誇りに思います。また、総発行部数は前年と比較して約1.75倍の増加となりました。次回のレポートにもご期待ください。

◆「出版活性化セミナー2006」など 秋は協会主催の各種行事が目白押し

毎年恒例の拡大編集セミナー「出版活性化セミナー」が、11月9日(木)に東京・一ツ橋の日本教育会館で開催されます。今回のテーマは「ベストセラーづくりの秘密」。平凡社取締役編集局長の下中美都氏、日本出版販売www.推進部MD課の古幡瑞穂氏、小学館「小学一年生」編集長の塩谷雅彦氏、新潮社「新潮新書」編集長の三重博一氏を講師に迎え、ベストセラーづくりのノウハウやヒントを語ってもらいます。

「出版活性化セミナー」は、出版業界の第一線で活躍されているベテラン編集者の方々を講師に招き、出版業界の動向や課題、あるいは編集プロダクションに対する期待などを語ってもらい、相互理解と情報交換を図りながら、編集プロダクションの進むべき指針を探ることを目的としています。このため広く門戸を開放し、協会の会員社だけではなく、全国の有力編集プロダクションにも参加を呼びかけています。

<出版活性化セミナーの概要>

◆第1部(午後1時10分～2時10分)

「良書を出し続ける難しさ」

平凡社の中中美都取締役編集局長に、今日の出版界全体の問題点と展望を語ってもらいます。

◆第2部(午後2時20分～3時20分)

「少しの工夫でベストセラーが生まれる」

日本出版販売(株)www.推進部MD課の古幡瑞穂氏に、書店・取次ぎの現場から見たベストセラー本、ロングセラー本の動向や特徴を紹介していただきます。

◆第3部(午後3時30分～4時30分)

「親と子に支持される雑誌作り」

小学館「小学一年生」編集長の塩谷雅彦氏に、読者をつかんだ雑誌づくりのノウハウについて語ってもらいます。

◆第4部(午後4時40分～5時40分)

「半歩先をいく新潮新書のベストセラー術」

新潮社「新潮新書」の三重博一編集長に、売れる本づくりのポイントと編集制作会社への期待を語ってもらいます。

◆懇親会(午後6時00分～)

講師の方もお招きし、名刺交換や情報交換などをしていただく予定です。

◆参加費 会員3,000円、一般4,000円

懇親会の参加費：一律3,000円

◆定員 150名

※掲載内容は都合により変更する場合があります。



100名近くが参加した昨年の拡大編集セミナーの様相

講師のプロフィール

下中 美都氏

1956年東京生まれ。1977年慶応大学文学部仏文科卒業後、文化学園文化出版局入社。料理書、女性誌「ミセス」、モード誌「Hi Fashion」編集部にて衣食住・美術デザイン関係の編集に携わる。95年に(株)平凡社雑誌部入社。翌年、好奇心のガイドブック「コロナブックス」を創刊。「別冊太陽」や写真集ほかグラフィック系の書籍を主に編集。専門は生活文化。現在、同社取締役編集局長、兼雑誌部長。

古幡 瑞穂氏

1975年長野県生まれ。97年立教大学法学部卒業後、日本出版販売株式会社に入社。特販営業部を経て、楽天ブックス株式会社の立ち上げに携わる。現在、www.(トリプルウィン)推進部MD課MD係長として、マーケットデータを利用した販売戦略の立案や売場作りの提案などに取り組んでいる。本屋大賞の立ち上げメンバーで、現在NPO本屋大賞実行委員会理事。

塩谷 雅彦氏

1958年埼玉県生まれ。國學院大学法学部法律学科を卒業、83年小学館入社。「小学三年生」「小学二年生」「小学一年生」を経て99年「小学三年生」編集長、00年「てれびくん」編集長、02年「小学一年生」編集長兼「入学準備小学一年生」編集長、現在児童学習編集部プロデューサーも兼務。キッズマーケットに新たなブームを起こすべく、日々キャラクターと奮闘中。

三重 博一氏

1963年鹿児島県生まれ。早稲田大学第一文学部史学科卒。専攻は西洋史(卒論のテーマは19世紀のユーゴスラビア)。1987年新潮社入社。「週刊新潮」編集部を経て、国際政治経済誌「フォーサイト」に創刊準備段階から10年、「新潮45」編集部にて3年勤務。02年4月新潮新書編集部発足とともに編集長に就任。新潮新書は03年4月創刊、今年2月に累計1,000万部を突破。4月で3周年を迎えた。

秋から年内にかけて実施予定の主な行事

●海外研修ツアー

10月7日(土)～10月16日(月)
世界最大の本の国際見本市である「第58回フランクフルト・ブックフェア」を視察します。募集はすでに締め切っています。

●第6回編集技術講座

10月20日(金) 6時30分～
スタジオ・ボイス編集長の品川亮氏が「アートディレクションの仕方」について講義します。

●ゴルフコンペ 10月21日(土)

第37回AJECゴルフコンペ(秋季大会)を埼玉県日高市のJゴルフ鶴ヶ島で行います。

●出版活性化セミナー 2006

11月9日(木) 午後1時～
上記参照

●第7回編集技術講座

11月17日(金) 6時30分～
テーマは「編集者としての人脈をどう作るか」。講師は未定です。

●秋の例会

11月22日(金) 6時30分～
秋の例会を東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷で行います。講師・内容等は追ってご連絡します。

●忘年会

12月14日(木) 6時30分～
会場は追ってご連絡します。

経営研修セミナー

6/30 7/1

毎年夏に恒例の経営研修セミナーが、6月30日(金)～7月1日(土)に神奈川県箱根の「リゾートピア箱根」で行われました。当日は21名が参加。第1部では編集制作会社の経営実態を調査した「経営白書」が発表され、第2部は(株)カフェグローブ・ドット・コム(カグロ)の矢野貴久子社長を講師に招き、「インターネット時代出版コンテンツをこう生かせ」と題して講義が行われました。また第3部

は、会員社2社の業務内容を通して事例研究を実施。その後、夜は懇親会で親睦を深め、2日目には希望者によるゴルフコンペが開催されました。



外部講師による講義を熱心に聞く参加者

東京国際ブックフェア

7/6~9

第13回東京国際ブックフェアが7月6日(木)～9日(日)に東京国際展示場

で開催され、「編集制作プロダクションフェア」も同時開催されました。

会場では会員ガイドや入会案内などの資料を配付するとともに、会員がエン



編集制作プロダクションフェアの会場に設置された協会ブース(写真右)

トリーした「我が社の一冊」を協会の特設ブース内に展示。さらに今年は、この展示物の中から優れた作品を来場者を選んでもらう「日本編集制作大賞」を開催し、協会ならびに会員社の積極的なPRの場としました。(1ページ参照)



一般書部会

7/20

7月20日(木)午後6時30分から東京・神田神保町の「伊蔵」で、今期最初の一般書部会が行われ、16名が参加しました。今回は「編集委託料金の最新動向と受注価格戦略」をテーマに、版元各社の業績が低迷する中、編集制作会社としていかに有利な取引条件に持ち込めるかについて、徹底した情報交換が行われました。また、秋にはエディタズダイアリーの改訂作業を控えていることから、協会が外部に公表している「編集制作料金基準表」の見直しについても議論しました。

なお、当日は部会開始前に、「日本編集制作大賞」の授賞式が行われ、受賞各社に楯と副賞が贈られました。



配布されたレジュメを手に議論を交わす参加者たち

編集技術講座

6/16 7/21 9/15

今年4月から開講した「編集技術講座」が、毎回70名前後の受講者を数え、順調に推移しています。6月16日に開催された第3回講座は、「読者を惹きつける雑誌の企画作り」をテーマに主婦と生活社の黒坂潔氏が講義。第4回講座は7月21日に東京新聞外報部の立尾良二氏を講師に招き、「取材のコツと執筆のポイント」について学びました。さらに9月15日に開催された第5回講座では、

元講談社生活文化局長の笹川隆氏が「編集における校閲校正の要点」について講義しました。

今後も第3金曜日(12月を除く)の午後6時30分から、東京・一ツ橋の日本教育会館で編集技術講座を行い、年10回の講座をすべて受講した方には協会から修了証を交付いたします。

なお、スポット受講(1講義3,000円)も受け付けていますので、受講したい方は事務局までご連絡ください。



第3回講座の講師を務めた主婦と生活社の黒坂潔氏(左)と第4回講座の東京新聞外報部の立尾良二氏

教材&デジタル合同部会

7/28

7月28日(金)午後6時30分から、東京・内神田の「焼肉 漢江」で教材&デジタル合同部会が開催されました。今期から教材部会長に就任した山本肇園理事など9名が参加し、部会の壁を超えた情報交換を行い、親睦を深めました。

企業出版部会

9/8

9月8日(金)午後6時30分から、東京・神田神保町の「LIBERTE(リベルテ)」で企業出版部会が開催され、今期から企業出版部会長に就任した小檜山範男理事をはじめ、12名が参加しました。当日は、編集制作料金基準表の見直しや最近の企業出版状況などについて意見交換が行われ、終始和やかな雰囲気での交流が行われました。



和気藹々と談笑する参加者